

悠久のオスティナート

古楽アンサンブル “La Guirlande”

～プログラム～

パーセル:三声の為のソナタ 第4番
パーセル:パヴァーヌとシャコンヌ
ウッチェリーニ:ボスカリーチェより ファンタジア
パーセル:グラウンドによる三声のファンタジア
パーセル:スイート ト長調
マリーニ:パッサカリオ
パーセル:オペラ「アーサー王」より シャコンヌ
他

出演

La Guirlande(ラ・ギルランド)
Baroque Violin 河内知子
Baroque Violin 稲富友有子
Baroque Violin&Viola 岡林鮎美
Viola da Gamba 中西歩
Cembalo 吉竹百合子

バロック時代の定番の編成の一つである「二声あるいは三声以上の旋律楽器と通奏低音」というスタイルは、後の時代の、各声部の音域や役割に明確な違いのある弦楽四重奏とは似て異なるもので、バロック期の終焉と共にほとんど姿を消してしまいました。この、各声部のメロディが対等に絡み、ある時は競いあうように奏でられる様式はこの時代の西洋音楽の特徴の一つと言えるでしょう。**La Guirlande**(ラ・ギルランド)は「ヴァイオリン3本」または「ヴァイオリン2本とヴィオラ」+ 通奏低音」という、旋律楽器を弦で揃えた、関西では数少ない(もしかしたら唯一の)ユニットです。今回はイギリスバロックを代表する作曲家、パーセルと、「オスティナート(通奏低音が同じ和声進行を果てしなく繰り返す)」という当時流行していた形式の作品群を軸にプログラムを組んでみました。**La Guirlande**でしか出せない弦楽器の魅力をお楽しみいただければと思います。

2015

11/14(土)

15:00 開演 (14:30 開場)

ノワ・アコルデ音楽アートサロン

入場料 前売り 2,500円
当日 3,000円

全席自由

お問い合わせ、チケットの御予約は
・TOONWOOD・

Tel 080-1715-4090 (9:00-17:00)

E-mail tomokoviol@yahoo.co.jp

主催: TOONWOOD

後援: 大阪音楽大学同窓会《幸楽会》

Photo by Tomoko Kawachi

◆ La Guirlande ◆

河内知子 Tomoko Kawachi

兵庫県立西宮高校音楽科卒業、京都市立芸術大学音楽学部弦楽器専修卒業、同大学院修了。1994年渡米、インディアナ大学に留学。在学中にモダンヴァイオリンからバロックヴァイオリンへ転向、パフォーマーディプロマ取得。その間に大学内のヴァイオリン製作のコースも始め、2001年より助手を務める。モダンヴァイオリンを岩淵龍太郎、梅原ひまり、ステイブ・ボウ、バロックヴァイオリンをスタンリー・リチー、ゲサ・コルデス、室内楽をナイジェル・ノース、ヴァイオリン製作をトーマス・スパークス各氏に師事。

2004年帰国、福岡において古楽器による演奏活動を始め。2010年、演奏活動の拠点を関西に移す。現在、兵庫教育大学大学院非常勤講師。演奏には本人作のバロックヴァイオリン、フランチェスコ・ルジェリのレプリカを使用。初期バロックアンサンブル「IL FIOLE」、古楽 Duo「sepia」メンバー。CD「ルネッサンスからバロックへ 1570-1630年 イタリア」をリリース。 <http://tomokokawachi.blog.fc2.com/>

Baroque Violin



Baroque Violin



神戸生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部弦楽器科卒業。1991年カナダ ヴィクトリア音楽祭に参加、スチューデント・コンサートに出演する。1994年ドイツ ケルンに留学し、アメリカ インディアナ大学サマーセッションにも参加するなど、研鑽を積む。1997年紋別音楽祭で、アンサンブル・コンサートに出演する。熊楠の里コンクール審査員を務める。「アフリカの子供達の為のチャリティコンサート」に、イギリス室内管弦楽団、元コンサートマスター、デビット・ジュリツ氏とデュオでの出演を機に、定期的に共演している。また近年、古楽にも興味を持ち、福岡古楽祭に参加し、寺神戸 亮、エンリコ・オノフリ各氏に師事、バロックヴァイオリン奏者としても活動している。現在、関西においてソロ、室内楽、オーケストラ等で活動中。ヴァイオリンを島戸祐子、林靖子、四方恭子、ステイブ・ボウの各氏に師事。

Baroque Violin & Viola

岡林鮎美 Ayumi Okabayashi

大阪音楽大学短期大学部器楽専攻卒業。ピアノ、チェンバロをダミアン・原田氏、ヴァイオリンを田丸尚子、山名公子、室内楽を原田幸一郎各氏に師事。

大学卒業後バロック・ヴァイオリンを大津睦、バロック・アンサンブルを大塚直哉、初期バロック音楽を古橋潤一の各氏に師事。

2010年福岡古楽祭にてエンリコ・オノフリ氏のレッスンを受講。

現在、初期バロック、宗教音楽から現代音楽までソロ、室内楽、オーケストラでヴァイオリン、ヴィオラ、バロック・ヴァイオリン、バロック・ヴィオラで幅広く活動。

「アンサンブル・フロット」メンバー。

大阪音楽大学音楽学部作曲学科楽理専攻卒業。

在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバと古楽アンサンブルを佐野健二、坂本利文の両氏に師事。インスブルック夏期国際古楽祭に参加し、ヴィーラント・クイケン氏のコースを受講。

また、2000年よりジョナサン・マンソン氏の指導を定期的にする。

2008年度フェニクス・エヴォリューションシリーズに選ばれ、同ホールにて2009年3月に公演。

大阪音楽セミナー、大阪音楽大学開放講座、ムジークフェストならに出演など中世、ルネサンス、バロック音楽奏者として活動している。CD「ラフティ・タフティ」をリリース、

「オルティス・コンソート」「アンサンブル・トリーヌ」「ル・ティサーージュ」メンバー。

稲富友有子

Yuko Inatomi



Viola da Gamba

中西歩

Ayumi Nakanishi

Cembalo



兵庫県出身。大阪音楽大学卒業後、同大学教育助手（西洋古楽演習担当）として演奏ほかチェンバロ製作に携わる。ヴェネツィアにてイタリア・チェンバロ協会主催のマスターコース修了。

大阪音楽大学・京都産業大学・京都女子大学等における公開講座、丹波の森国際音楽祭、金沢芸術村主催公演など各地に招聘され出演。ソロ・リサイタル開催や、協奏曲のソリストとしてモーツァルト室内管弦楽団、アート・ムジカ合奏団など各種オーケストラと協演し、オペラやオラトリオなど初期鍵盤楽器

を使用した数多くの演奏会に出演。また、大阪市現代芸術創造支援事業として企画が採択され公演を多数開催。

現在、室内楽を中心に、オーケストラ客演や録音、バロックダンスや邦楽といった、多岐にわたるジャンルとの公演においてソロ及び通奏低音奏者として活動、後進の指導にもあたっている。プレイフォード舞曲集「ラフティ・タフティ」、ケルト×バロック CD「ハーツイーズ」

「イ・フォンド・キス」をリリース。

吉竹百合子

Yuriko Yoshitake

ノワ・アコルデ音楽アートサロンへは・・・

大阪府豊中市服部本町2-5-24 音楽レッスンマンション ノワ・アコルデ 1F

阪急宝塚線[服部天神駅]より東へ徒歩5分

駐車場はございません。周辺のパーキングをご利用ください。

